Panasonic

緊急警報放送受信機
NHK 緊急警報放送専用

取扱説明書

品番　RF-K1

付属品
- 単３形乾電池２本
- ACアウトレットふた（本体に装着済）

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571　大阪府門真市松生町１番４号

RQTK0030-1S
F0697D3079 (D)

主な仕様

受信周波数帯域	FM　76～108 MHz（TV：1～3 ch）
スピーカー	5 cm 丸形　8 Ω
ACアウトレット	最大 300 W
実用最大出力（EIAJ：AC時）	300 mW
電源　電灯線	AC 100 V、50/60 Hz
乾電池	DC 3V（単３形乾電池２本）
消費電力	AC 3 W
最大外形寸法（EIAJ）	68.5（W）× 147（H）× 38.5（D） mm
質量	約 265 g（乾電池を含む）
電池持続時間（乾電池電源のとき）（EIAJ）［ナショナルネオ《黒》（R6PU）使用時］　音声「入」時	約 12 時間
音声「切」時	約 26 時間

電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

音声「切」時の消費電力・・・・・・・・・・・・・・・・約 AC 0.3 W

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	RF-K1
販売店名			

本機の特長

- NHK テレビ総合（1 ～ 3ch）/NHK-FM の緊急警報放送受信機
- 地域設定で、最良の NHK 放送局［TV（1-3 ch）、FM］を自動選択
- 出力 300 mW
- 停電時や災害時のための、バックアップ電池内蔵（通常は家庭用コンセントに接続してご使用ください。）

緊急警報放送について

緊急警報放送とは、大規模地震の警戒宣言、津波警報等の情報放送で、緊急時には警報音に続いて災害に関する情報等が放送されます。

本機をご使用のお客様へ

災害に関する緊急警報は、本来、法令に基づき、国または地方公共団体が適切な手段を選んで国民に伝達するものでありますが、その補助的な手段のひとつとして放送電波を利用したものが、この緊急警報放送システムです。

この受信機は、緊急警報を受信することができるようにしたものですが、この受信機自体で災害による被害を予防したり損害を回避するものではありません。
従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、お取り扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも、災害について補償するものではありませんので、ご了承ください。

使用上のお願い

以下のことは、故障の原因となりますので、避けてください。

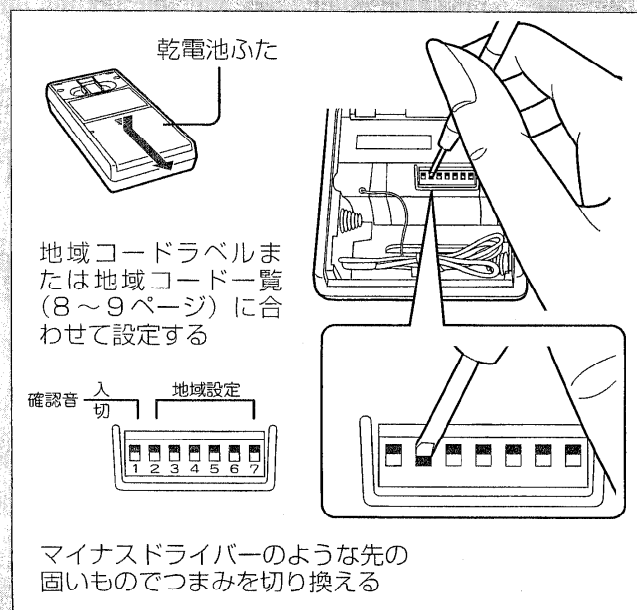
- 強い衝撃や落下
- 風呂場など湿気の多いところ、倉庫などほこりの多いところでの使用

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、あとは空ぶきしてください。

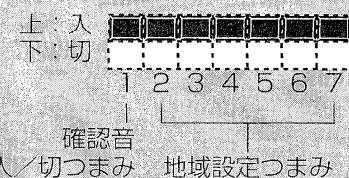
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

1 地域と確認音「入」を設定する

本機はご使用の地域に合わせて地域設定をする必要があります。ご使用の地域の**地域コードラベル**を切り取り、乾電池ふたの裏の両面テープ部に貼ってください。

この図は、つまみが上方にあることを示しています。

上：入
下：切
1 2 3 4 5 6 7
確認音 入／切つまみ　地域設定つまみ

例えば…

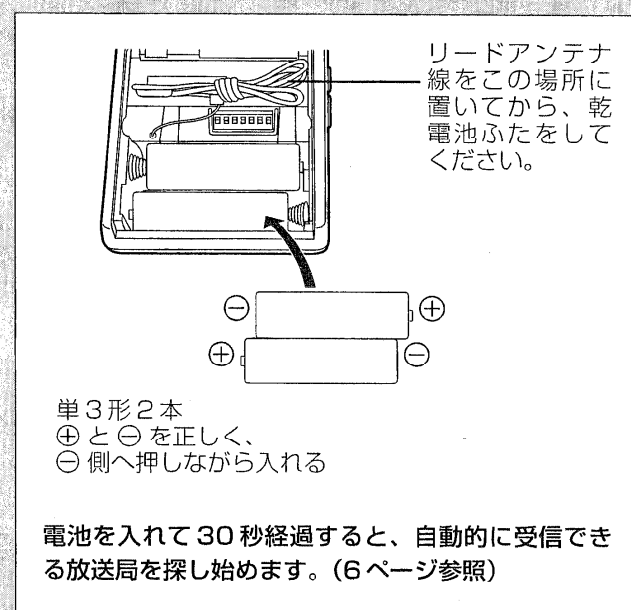
東京では
上 上 下 上 上 上 上
1 2 3 4 5 6 7

大阪では
上 上 下 下 上 上 下
1 2 3 4 5 6 7

試験放送受信時に確認音を鳴らさないようにするには「確認音　入／切」つまみを「切」に切り換える

2 乾電池を入れる

停電時のバックアップや災害時のために、必ず単３形乾電池を２本入れておいてください。

単３形２本
⊕と⊖を正しく、
⊖側へ押しながら入れる

電池を入れて30秒経過すると、自動的に受信できる放送局を探し始めます。（6ページ参照）

乾電池について

停電がなかった場合でも、１年に１回は乾電池を交換してください。

電池寿命について

「動作中／電池」ランプ（緑）が点滅したときは、全て新しい電池と交換してください。「動作中／電池」ランプ（緑）が点滅し始めてから、約５時間程度使用できます（乾電池電源のとき）。

緊急警報放送を受信すると

- 確認音の入／切、音声の入／切に関わらず警報が鳴ります。
- 「警報」ランプ（赤）が点滅します。
- 緊急警報放送が一定の音量で流れます。
（このとき「音量」つまみと無関係に鳴り、音量の調整はできません。）

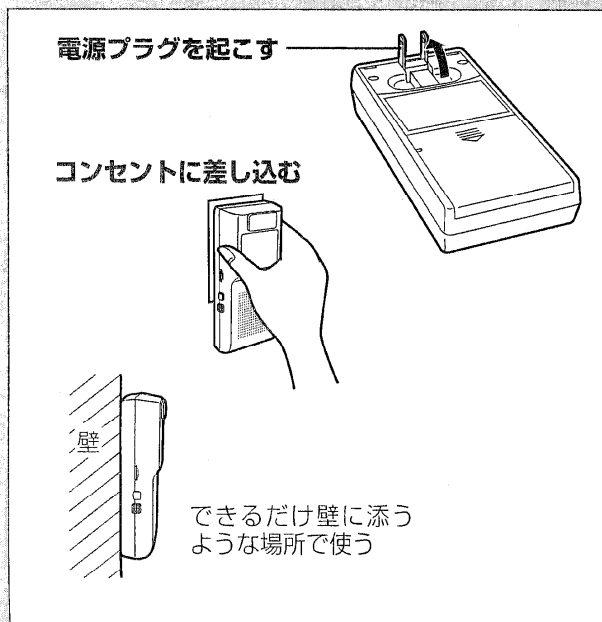
緊急警報放送が終了すると

「警報」ランプ（赤）が消灯し、音声「入」の状態になります。

緊急警報放送受信中に「音声　入／切」ボタンを押すと

「音量」つまみの音量になります。

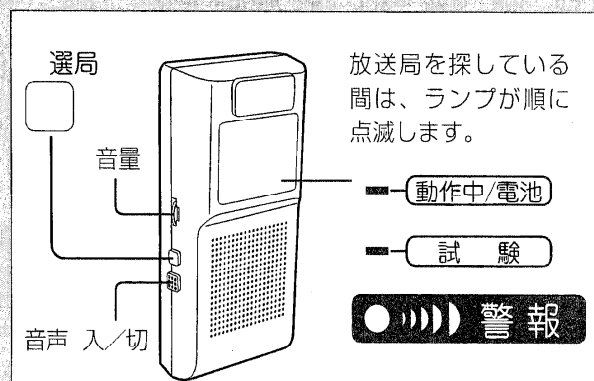
3 家庭用コンセントに差し込む

企業などで使用される場合は、24時間通電しているコンセントをご使用ください。
（バックアップ電池の消耗を防ぐため）

電源プラグの部分は、アンテナとして働きます。
オフィスビル等の鉄筋コンクリートの建物のコンセントでは、電源プラグがアンテナとして機能しない場合があります。そのような場合はリードアンテナ線を引き出してお使いください。

お願い

- プラグを起こしたり、倒したりするときは、手などを怪我しないようにお気をつけください。
- 本機の故障を防ぐため、上下逆向きでは使用しないでください。
- ゆるくなったコンセントではご使用にならないでください。
- プラグがぐらついていないか時々確認してください。

4「選局」ボタンを押す

自動的に、ご使用の地域内のNHK総合テレビ放送（1～3チャンネル内）、またはNHK-FM放送のいずれか受信しやすい方の放送局を探し、設定します。

受信すると
“ピピ、ピピ、ピピ、ピピ、ピピ”、と確認音が鳴って、「動作中／電池」ランプ（緑）が点灯します。（乾電池が入っていないとき、消耗しているときは点滅します。）

放送受信を確認する

「音声　入／切」ボタンを押して、「音量」つまみで音量を調整し、NHKの電波であることを確認する

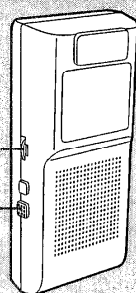
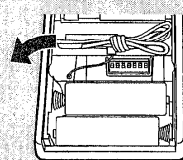
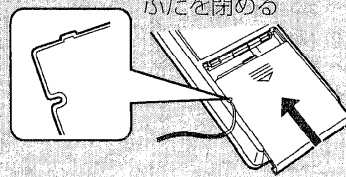
受信できないときは
「動作中／電池」（緑）、「試験」（黄）、「警報」（赤）ランプが全て同時に点滅します。
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

コンセントから抜いたときは、再度「選局」ボタンを押して設定しなおしてください。

＊ 災害時、屋外で使用するときは

NHK放送のラジオとして使用できます。
他のチャンネルは、受信できません。

「音声　入／切」を押して、「音量」つまみで調整してください。

乾電池電源で使用するときは、乾電池収納部内のリードアンテナ線を伸ばしてお使いください。

試験放送を受信して点検する

本機が正しく作動するために、試験放送（下表参照）により充分な点検、管理をしてください。万一、不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

（1997年6月現在）

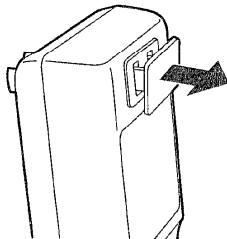
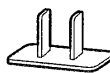
実施日	毎月1回、月初め（9月1日、10月1日等） ただし、1月のみ4日に変更
時間	午前11時59分～午後0時00分

試験放送を受信すると

●確認音が鳴ります。（「確認音　入／切」つまみが「入」のとき）

●「試験」ランプ（黄）が約9時間点滅し続けます。
「音声　入／切」ボタンを押すと「試験」ランプ（黄）は消灯します。

ACアウトレットについて

消費電力が300 W以内の機器をつなぐことができます。
ただし、「音声　入／切」ボタンを押すと雑音が入り、放送が受信できなくなる機器の場合は、使用しないでください。そのまま本機のコンセントを使用していると、緊急警報放送が受信できないことがあります。

お願い

本機のACアウトレットをご使用にならないときは、必ずACアウトレットふたをしておいてください。

故障かな!?

修理を依頼するまえにこの表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	処置
受信できない。	ご使用の地域に合わせて、正しく地域設定してください。

地域コード一覧

転居などでご使用の地域が変わった場合は必ず、地域設定を行い、「選局」ボタンを押してください。

次の地域については、A～Cを確かめたうえ、正しく設定してください。

長野A：長野市、更埴市、須坂市、中野市	広島A：三次市、庄原市	愛媛A：東宇和郡城川町
長野B：上記を除く長野県内	広島B：府中市	愛媛B：北宇和郡日吉町
	広島C：上記を除く広島県内	愛媛C：上記を除く愛媛県内

愛知　新潟　岐阜　山梨　富山　長野A　石川　長野B　福井　静岡

札幌・室蘭・函館　帯広　旭川　釧路・北見

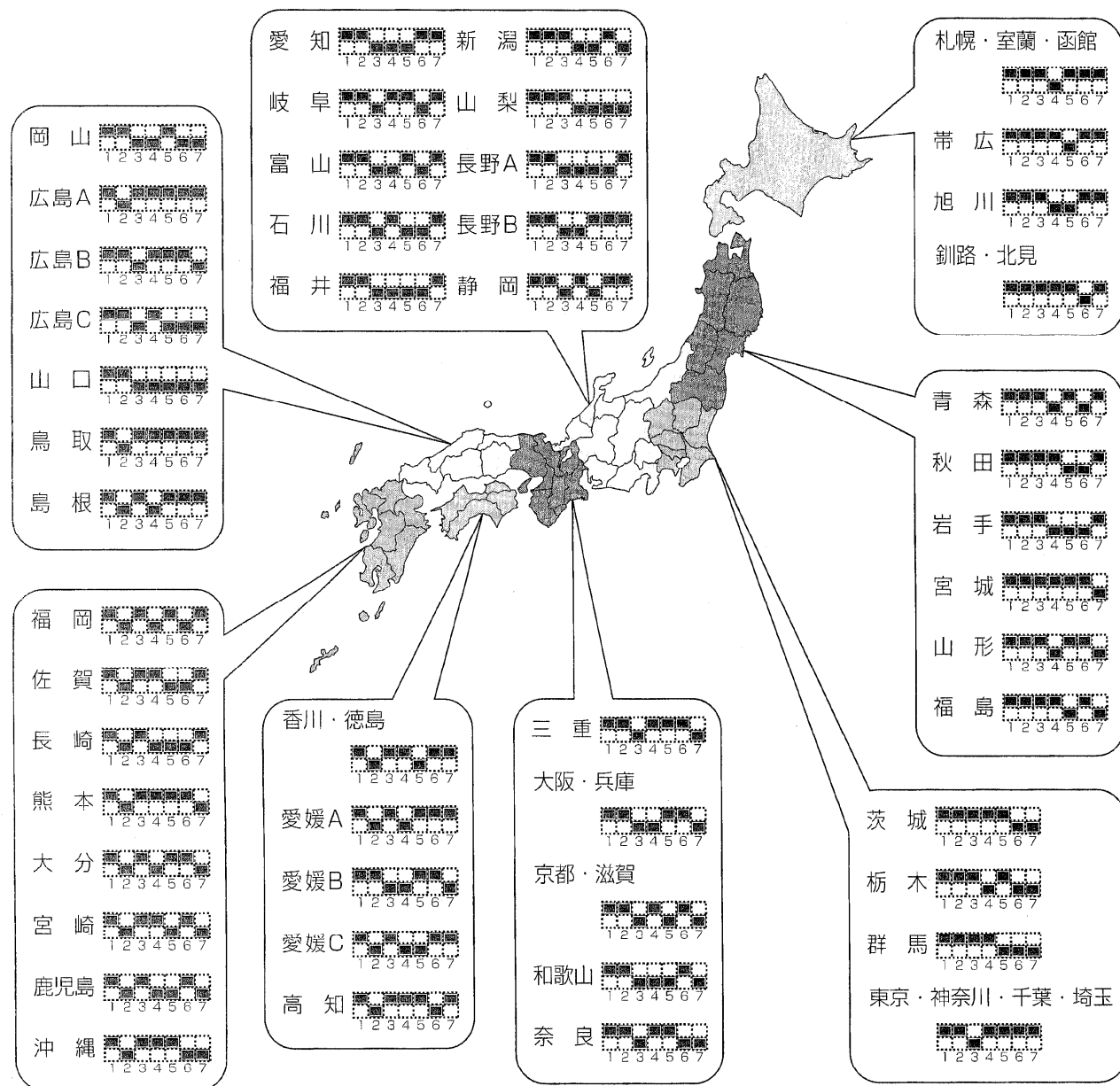
岡山　広島A　広島B　広島C　山口　鳥取　島根

青森　秋田　岩手　宮城　山形　福島

福岡　佐賀　長崎　熊本　大分　宮崎　鹿児島　沖縄

香川・徳島　愛媛A　愛媛B　愛媛C　高知

三重　大阪・兵庫　京都・滋賀　和歌山　奈良

茨城　栃木　群馬　東京・神奈川・千葉・埼玉

本機の電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
乾電池電源のとき
- 乾電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。
- 新しい乾電池と交換してください。

確認音が鳴らない。 → 「確認音　入／切」つまみを「入」に設定してください。

ラジオが聞こえない。 → 「音声　入／切」ボタンを押して「入」状態にしてください。